

# ギャラリー 仲摩通信

二〇二〇年五、六月合併号

新型コロナウイルス  
緊急事態宣言が解除さ  
れ、久しぶりに進行中  
のプロジェクト打ち合  
わせに参りました。



第二波到来に備え、三密を避けるため、社外での打ち合わせになりましたが、ほんの少し経済活動再開を感じました。

二月の明治神宮での「神宮の杜に集う彫刻家たち」展を終えてからというもの報道はコロナニュース一辺倒で、芸術関連のイベントはほとんどが中止、無期延期になり、寂しい数か月でした。

在宅勤務になり、ZOOMの講座参加、資料整理、作品紹介の準備など働き方改革の心配に及ばず、ギャラリー仲摩の歩みを振り返りながら、新たな方法でお客様に喜んで頂ける企画を練っています。

地域で時間差がありました。漸く美術館の展覧会が観られるようになりました。展覧会日程が大幅変更されていますので、本誌では、ガラス美術館の企画展最新情報をお届け致します。

マスクを着けて、お出かけください。

(仲摩)

## ■美術館のガラス展情報

詳しくはそれぞれのHPをご覧ください

### ●富山市ガラス美術館

#### 「イヴァナ・シュラムコヴァ

ここに



チェコ共和国在住の作家イヴァナ・シュラムコヴァ (1960-) の個展。

今回、作家が六十歳を迎える記念すべき年に、富山市ガラス美術館での展覧会が実現しました。作家は、主に人間や動物をモチーフに、ガラスの彫刻や器、油絵など



様々な手法で表現を展開しています。

本展では、二〇一〇年から二〇二〇年にかけて制作された四十三点もの小鳥の作

品をはじめ、高さが二メートルを超えるダイナミックな彫刻や本展が初出となる新作など、個性豊かな表情を見せる八十六

点の作品をご紹介します

す。それら作品からは、作家が捉えた人間の感情や内面、動物たちに



対する愛情が伝わってきます。作家自らが身近な自然の中で収録を行った鳥たちのさえずりが響く展示空間で、チェコの空気を感じながら作品の世界にひたっていただければと思えます。

(学芸員 古澤かおり)  
会期：開催中〜九月二十二日(火・祝)  
閉場日：7/1(水)、7/15(水)、8/5(水)、8/19(水)、9/9(水)、9/16(水)

時間：九時三十分〜十八時(入場は十七時三十分迄) ※当面は金・土も同様会場：展示室3

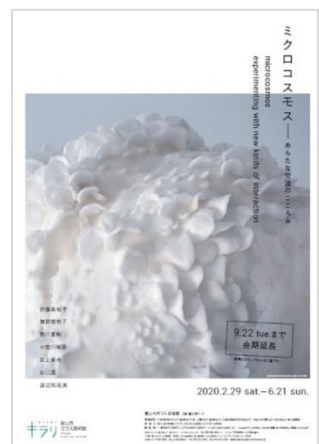
観覧料：一般七百元、大学生五百円  
共通観覧券：一般千二百円、大学生八百円

※小中高生未就学児無料

<https://www.toyama-glass-art-museum.jp>

## 「ミクロコスモス

あらたな交流のこころみ



現在活躍中の作家七人による展覧会。身近な植物や生き物、あるいは自身の表現素材など、自らとは異なる存在や物質の中に力強さや美しき、生命感を見いだしながら作家達が構築する、小宇宙ともいふべき繊細で複雑な作品世界を紹介。(学芸員 中島春香)

出品作家：伊藤真知子、猪野屋牧子、勝川夏樹、小曾川瑠那、言上真舟、谷口嘉、渡辺知恵美

会期：開催中〜九月二十二日(火・祝) ※会期延長しました

閉場日：7/1(水)、7/15(水)、8/5(水)、8/19(水)、9/9(水)、9/16(水)  
時間：九時三十分〜十八時(入場は十七時三十分迄)

※当面は金・土も同様

会場：展示室 1・2

観覧料：一般七百円、大学生五百円

共通観覧券：一般千二百円、

大学生八百円

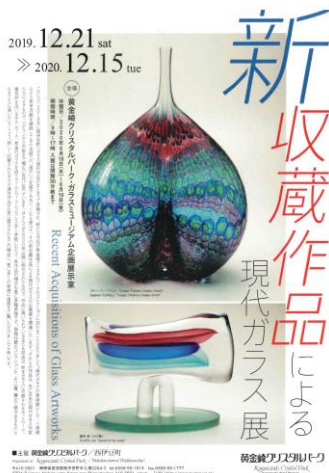
※小中高生未就学児無料

<https://www.toyama-glass-art-museum.jp>

●黄金崎クリスタルパーク

ガラスミュージアム

「新収蔵品による現代ガラス展」



二〇一九年に新たな収蔵作品が加わりました。ベテランから中堅まで幅広い世代の作家による様々な技法で制作された多種多様なガラス造形作品を一堂に展示。

お見逃しなく！

会期：開催中～十二月十五日（火）

※会期延長しました

休館日：6/20（土）以降無

（時間：九時～十七時（入場は閉館

三十分前迄）

会場：黄金崎クリスタルパーク

ガラスミュージアム企画展示室

入館料：大人八百円、小中学生四百円

<http://www.kuripa.co.jp>

●石川県能登島ガラス美術館

「色とりどりの」



石川県能登島ガラス美術館コレクションから彩りにおいても、その表現においても、まさに「色とりどりの」作品を紹介。

会期：開催中～八月三十日（日）

※会期延長しました

休館日：7/21（火）、8/18（火）

時間：九時～十七時

（入館は閉館の三十分前迄）

会場：石川県能登島ガラス美術館

観覧料：高校生以上八百円

中学生以下無料

<http://www.nanao-art.jp/glass/>

## イヴァナさんのこと

富山市ガラス美術館で待望のイヴァナさんの展覧会が始まりました。

初めてイヴァナさんに会ったのがいつだったかはつきり覚えていませんが、おそらく今を遡ること三十年以上、ブラハ訪問の時だったと思います。

あの力強い作品をこんなに華奢な若い女性が作っていることに驚き、ちよ

つぱりユーモラスでチャーミングな

作品の虜になりました。

チェコ出張の際は彼女のアトリエ

を訪ね新作を見るのが楽しみになりました。

この写真

は、一九九

一年に雪

谷のギャ

ラリー仲摩で開催したイヴァナさん

の個展に出品して頂いた作品です。

展覧会に、パリ装飾美術館キュレータ

ーのジャン・ルック・オリビエさんが

お出でくださり、この作品を『世界現

代ガラス展』に出品しなかったことを

残念がってくださいました。（吹きガ

ラスにペイントの車の作品を出品）

作品のシリーズは、黄金崎クリスタル

パークガラスミュージアム、富山市ガ



FIGURE

ラス美術館のコレクションとなりま

した。

月島のセンチュリ

ーパークタワーに設

置されたイヴァナさ

んの作品です。

一九九九年、「水辺の

いきもの」というテーマをデザインし

た赤茶色のキャストガラスの「FISH」

その後、各所の建物にイヴァナさんの

作品が設置されています。

二点の初期の作品をご紹介しま

したが、富山市ガラス美術館でどんな

作品に出会えるのか楽しみです。

ぜひ、イヴァナさんの近作を観にいら

してください。

### 【編集後記】

今年にはコロナ被害で特別定額給付

金が支給されました。給付金、補助金

について学び、今後の企画実現に活か

したいと思います。（仲摩）

《編集・発行》ギャラリー仲摩

横浜市緑区三保町二〇六〇番地

TEL:090-1053-6642

FAX:045-507-3080

<http://www.nakama.co.jp>

[nakama@nakama.co.jp](mailto:nakama@nakama.co.jp)